

# 情報発信

情報の発信の方法は様々であるが、事前にユーザーが必要な情報を取得することにより安心して当日の会場へと来ることが出来る。そのためにはホームページ等インターネットを活用した情報発信が有効である。ここではホームページでの情報発信について記載する。

## ■情報発信の現状の問題点 1

地図情報	グーグルマップのスタート位置がわからない
	グーグルマップが見つらい
	駅から1本道なので「駅を背にして道の右をまっすぐ」等の言葉で案内が無い
	HPから案内図を探しにくい
	文化公園内の地図をHPにアップする
	3館がどれか分かりにくい→公園中にホール内グーグルアースに登録した方が・・・
	webサイトの地図表示がわかりづらい
	写真や詳細地図があるといい
	HPに劇場の外観写真を載せる

## ■情報発信の現状の問題点 2

アクセス情報	スマホで見づらい。アクセスも見つけにくい。
	ホームページで場所が検索出来ない（アクセスがわからない）
	ノンステップバスの有無
	ネットで空港から商店街に行くHPが見つからない→人に聞く→informationを探す
	宮崎空港のwebページから街中に行くルートがわからない
	空港から空港駅への行き方がHPだとわからない
	空港からどうやって出るのがHP案内でわからない
	空港からのアクセス。商店街へ行く案内HPがない。分かりにくい
	レンタカー情報があると良い（車椅子対応）
	下半身付随の場合、手動レンタカーの情報があると嬉しい



### <短期的な解決の方向性>

- ユーザーが安心して来場出来るように発信情報に漏れや間違いが無いか確認をする
- TOPからでもアクセス情報が直ぐにわかる場所や表記にする
- 地図を掲載する際は初めて訪れる人でも分かりやすいような表記や目印を記載する
- アクセス情報の中に最寄駅やバス停からのバリアフリーの状況や情報を記載する
- 車でアクセスする人向けに障害者駐車場の有無や予約の可否に関して記載する
- 問い合わせが多い事項に関しては事前に明記しておく
- ユーザーにとって必要となる情報に関しては現状をしっかりと伝える必要がある（バリアフリーが整っていない、サービスが無い等もありのまま伝える）

## ■ 情報発信の現状の問題点 3

音声読み上げ対応	障害種別で見えやすい・分かりやすいニーズは違う（HPも工夫が必要）
	HPのリーダーは絵は認識しない。文字・音声でわかるといい
	HPに写真がたくさん→音声読みが難しい
	HPのTOPは写真もいいけど、視覚情報のみだと分かりづらいこともある
	HPからのアクセスを調べる時、視覚情報を文字で出しておく読み上げ対応可
	HPの写真情報は音に変換が出来ない



### <短期的な解決の方向性>

- 音声読み上げソフトを使用しても音声で支障がないようにする
- 写真やイラスト等を使用する際には、文字で情報補足をする
- 視覚障害者や高齢者向けに文字サイズの大きさをユーザー自身で調整できるようにする
- 色のコントラストにも注意する

## ■ 情報発信の現状の問題点 4

必要な情報（問い合わせ） 市外局番がわからないと電話も出来ない



### <短期的な解決の方向性>

- それぞれの障害に応じて複数の問い合わせ方法を準備しておく（メール・電話・郵送・FAX等）
- 問い合わせ先が直ぐにわかるように明記する

### <その他必要な事前情報>

- 開催当日にそれぞれの障害の応じたサポートがあるのか（音声ガイド/手話通訳/点字パンフレットなどの有無）
- 会場案内図や会場の設備について
- 事前に注意する事項